

質問	モンテルカスト細粒 4mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>モンテルカスト細粒 4mg を簡易懸濁する際は遮光下（暗室）で調製し速やかにご使用下さい。</p> <p>剤形違いのモンテルカスト錠 5mg では曝光下（約 500lx）において 55℃の温湯に懸濁させた場合、調製開始時に類縁物質が規格外となっています。</p> <p>上記注意が必要ですがモンテルカスト細粒 4mg は約 55℃の温湯に 10 分以内に崩壊・懸濁し、8 Fr.のチューブ及び 18 Fr.のガストロボタンフィーディングチューブを通過しています。</p> <p>また、調製懸濁液の pH は 8.68、懸濁液の 10 分後の残存率は 100.4%でした。</p> <p>【添付文書の記載】（一部抜粋）</p> <p><6. 適用上の注意（一部抜粋）></p> <p>(2) 本剤は口に直接入れるか、スプーン 1 杯程度の柔らかい食物（室温以下）と混ぜて服用することができます。またスプーン 1 杯（約 5mL）の調製ミルク又は母乳（室温以下）と混ぜて服用することもできる。本剤服用後は水などの飲み物を摂取してもよい。</p> <p>(3) 本剤は光に不安定であるため、服用の準備ができるまで開封しないこと。柔らかい食物、調製ミルク又は母乳と混ぜた場合も、放置せずに直ちに（15 分以内に）服用すること。</p> <p>この資料は本剤の懸濁状態及びチューブ通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。</p> <p>本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。</p>
参考資料	【モンテルカストチュアブル錠 5mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料